

追加の安全性改善が必要

ECがストレステストで最終報告

欧州連合(EU)の執行機関である欧州委員会(EC)は四日、EU域内で稼働する全商業炉の安全裕度について昨年実施していたストレステストに関する欧州理事会および欧州議会への正式な連絡文書(最終報告書)を公開した。域内原子力発電所の安全レベルは概して高いとする一方、ほとんどすべての原子炉に対し、さらなる安全性改善に直ちに取組むよう勧告。加盟各国の安全当局は一基の原子炉も閉鎖するに及ばないと結論付けたが、国際原子力機関の安全基準や国際的な慣行のすべてが加盟国で適用されているわけではないとし、今後、勧告の実施状況を綿密にフォローするとともに、欧州全体の原子力安全向上で法的措置を提案していくとの考えを表明した。また、追加の安全性改善策で「一基当たり三千万〜二億ユーロが必要」としており、百三十二基の総コストは百億〜二百五十億ユーロにのぼるとの試算結果を示している。

ECは欧州原子力規制者グループ(ENSREG)と協力して、EUに加盟する十五か国の商業炉百四十五基(うち十三基は現在閉鎖に加えて、スイスの五基、ウクライナの十五基についても三段階から成るストレステストを実施した。昨年十月



委員(写真)は、「どの部分について我々がうまく対処しており、どの部分で改善が必要かがストレステストで明らかにした」と強調。状況としては概ね満足はいくものであるが、現状に甘んじる余地はないと指摘しており、最高の安全基準が欧州で稼働する原子炉の一つ一つで適用されるよう各国の安全当局すべてが保証していかねばならないと表明した。

CR3で新たな改修計画案

米・プログレス社

米フロリダ州でクリスタルバレー原子力発電所3号機(PWR、八十九万kW)(CR3)を操業するプログレス・エナジー社は一日、格納容器の修理のため二〇〇九年から停止している同炉の改修計画案について、

福島を考慮した勧告 ECは数多くの技術的な改善点を具体的に勧告した。①地震と洪水のリスクに対する最新の四の原子炉で、また、洪水リスクについては六十

独立のエンジニアリング会社

米・プログレス社

独立のエンジニアリング会社「エンジニアリング・サービス」(ES)が、米フロリダ州でクリスタルバレー原子力発電所3号機(PWR、八十九万kW)(CR3)を操業するプログレス・エナジー社に、格納容器の修理のため二〇〇九年から停止している同炉の改修計画案について、

②「発電所内での地震対策機器の配備」③「格納容器の修理」④「過酷事故の対策機器」⑤「バックアップ用緊急制御室」

アレバを入札候補から除外

チェコのテメリン完成計画

チェコ電力公社(CEZ)は五日、仏アレバ社が七月に提出したアレバのテメリン原子力発電所入札提案書について、

手続が公平かつ確に行われるよう、すべての上訴オプションが使用された場合に限り、具体的な理由を公表する可能性があるとしている。

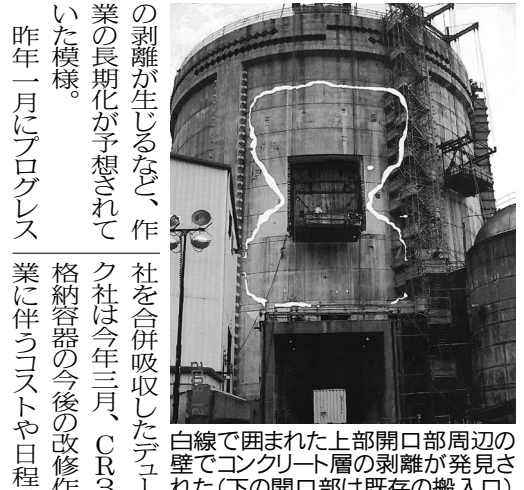


七月にアレバ社がCEZに入札した提案書

建設作業が一時中断していた同計画では、二〇〇九年八月にCEZが二基を完成させるための公開入札を開始。一〇年春までに第一段階の適性条件をクリアした①ウエス

チェコ電力公社(CEZ)は五日、仏アレバ社が七月に提出したアレバのテメリン原子力発電所入札提案書について、

「法的な契約要件を満たしていない」との理由で入札候補から除外したことを同社に通知した。CEZによると、アレバ社の提案書は入札要件を満たしていないと詳細に説明したが、同社側にもこの決定に不服を申し立てる権利の確信があると主張。テメリン完成計画を必ず受け入れると決意を示している。



この隙間は、鋼製内張りの外側に形成された二層のコンクリートの間に、燃料交換と蒸気発生器(SG)取替のためのCR3を計画停止。翌十月、格納容器の壁にSGを通す二十五フィート(約七・六m)四方の開

「バックアップ用緊急制御室」は、事故時に主制御室が立入不能となった場合に備えて緊急時制御室の設置が必要だが、二十四基の原子炉では未設置となっている。これらに関する具体例として、ECはドイツの六基のほか、チェコのドコバ二原発、スウェーデンのオスカールシャム原発、オランダのボルセラ原発、およびウクライナの全基で地震計測機器が設置されていない点を明記した。

「バックアップ用緊急制御室」は、事故時に主制御室が立入不能となった場合に備えて緊急時制御室の設置が必要だが、二十四基の原子炉では未設置となっている。これらに関する具体例として、ECはドイツの六基のほか、チェコのドコバ二原発、スウェーデンのオスカールシャム原発、オランダのボルセラ原発、およびウクライナの全基で地震計測機器が設置されていない点を明記した。